

## 2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2023年1月11日

東

上場会社名 株式会社グッピーズ  
コード番号 5127

上場取引所

URL <http://www.guppy.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 肥田 義光

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 瞬 (TEL) 03-5908-3880

四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年8月期第1四半期の業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	548	—	189	—	187	—	126	—
2022年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	38.18	35.52
2022年8月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2022年8月期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	2,270	1,713	75.5
2022年8月期	1,509	832	55.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 1,713百万円 2022年8月期 832百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,201	18.9	520	10.5	520	7.3	364	6.3	109.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2022年9月30日現在の発行済株式数を使用しております。

#### ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期1Q	3,529,300株	2022年8月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	—株	2022年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期1Q	3,304,304株	2022年8月期1Q	—株

(注) 当社は、2022年8月期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が徐々に緩和され、経済活動活性化への動きがみられた一方で、ウクライナ情勢等の地政学リスクや世界的な金融資本市場の変動の影響等により、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中においても、当社の注力市場である医療・介護・福祉分野におきましては、依然として人手不足が大きな課題になっており厚生労働省が発表した2022年度10月の有効求人倍率は、医療業界が2.54倍と全職業合計の有効求人倍率は1.35倍を大きく上回っております。

当社では医療・介護・福祉分野の事業者不足及び医療・介護・福祉従事者の不足や偏在を解消するため、医療提供機関、医療従事者の良きパートナーとなり、人材サービスをベースにした経営サポートを行うなど、新たなサービスの開発にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高は548,073千円、営業利益は189,663千円、経常利益は187,767千円となり、四半期純利益は126,149千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 人材サービス事業

人材サービス事業では、医療・介護・福祉業界における主に有資格者に対応した求人サイト「GUPPY」において、中途転職者においては求人広告事業、就職新卒者においては国家試験過去問アプリの提供、求人広告、就職情報誌、また求職者全体への就職合同説明会などを展開し、国家試験対策から就職活動、転職までのサポートを提供しております。

当第1四半期会計期間においては、医療・介護・福祉業界に特化した求人サイト「GUPPY」において、歯科職種向け求人広告が堅調に推移いたしました。また病院・薬局・介護施設・保育所等向けには新しい採用サービスを開始いたしました。

以上の結果、売上高は504,950千円、セグメント利益は262,280千円となりました。

#### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、スマートフォンによる健康アプリ「グッピー ヘルスケア」を企業、自治体及び健康保険組合向けに提供しております。

当第1四半期会計期間においては、企業向けプランの顧客獲得に努めるとともに、企業対抗のウォークラリーイベントを開催しアクティブユーザーの増加を図りました。また自治体向けについても新たに東京都瑞穂町への提供を開始いたしました。

以上の結果、売上高は43,123千円、セグメント損失は13,105千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 流動資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,100,048千円と前事業年度末比759,272千円増加しました。これは主に四半期純利益の計上及び増資に伴う現金及び預金724,271千円の増加によるものであります。

#### ② 固定資産

当第1四半期会計期間末における固定資産は170,885千円と前事業年度末比2,256千円増加しました。これは主にヘルスケアアプリの開発等に伴うソフトウェア仮勘定22,637千円の増加及び繰延税金資産の取り崩しに伴う繰延税金資産18,806千円の減少によるものであります。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の総資産は2,270,934千円となり、前事業年度末比761,529千円増加しました。

#### ③ 流動負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は532,458千円と前事業年度末比118,426千円減少しました。これは主に税金の支払いが行われたことに伴う未払法人税等41,581千円の減少及び決算賞与が支払われたこと等に伴う未払

費用41,246円の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期会計期間末における固定負債は24,879千円と前事業年度末比974千円減少しました。これは主に一年以内返済予定の長期借入金振替による長期借入金1,854千円の減少によるものであります。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の負債合計は557,337千円となり、前事業年度末比119,401千円減少しました。

⑤ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は1,713,596千円と前事業年度末比880,931千円増加しました。これは主に増資に伴う資本金377,390千円の増加、資本剰余金377,390千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月13日に公表した2023年8月期業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,111,370	1,835,642
売掛金	209,418	245,859
貯蔵品	6,395	3,934
その他	13,720	14,789
貸倒引当金	△128	△177
流動資産合計	1,340,775	2,100,048
固定資産		
有形固定資産	54,352	52,827
無形固定資産	10,352	32,990
投資その他の資産	103,923	85,068
固定資産合計	168,628	170,885
資産合計	1,509,404	2,270,934

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	16,710	10,431
未払法人税等	84,393	42,811
契約負債	310,452	298,172
賞与引当金	10,241	10,348
褒賞費用引当金	12,441	10,605
その他	216,645	160,089
流動負債合計	650,884	532,458
固定負債		
長期借入金	1,854	-
健康ポイント引当金	4,771	5,901
資産除去債務	14,540	14,554
リース債務	4,688	4,424
固定負債合計	25,854	24,879
負債合計	676,739	557,337
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	407,390
資本剰余金	-	377,390
利益剰余金	802,665	928,814
株主資本合計	832,665	1,713,596
純資産合計	832,665	1,713,596
負債純資産合計	1,509,404	2,270,934

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	548,073
売上原価	20,918
売上総利益	527,154
販売費及び一般管理費	337,491
営業利益	189,663
営業外収益	
受取返戻金	96
雑収入	0
営業外収益合計	96
営業外費用	
支払利息	110
固定資産除却損	135
株式交付費	1,746
営業外費用合計	1,992
経常利益	187,767
税引前四半期純利益	187,767
法人税、住民税及び事業税	42,811
法人税等調整額	18,806
法人税等合計	61,617
四半期純利益	126,149



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年9月30日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2022年9月29日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）増資による新株式363,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ258,819千円増加しております。また、2022年11月2日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式166,300株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ118,571千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が407,390千円、資本剰余金が377,390千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報、並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計上額 (注) 2
	人材サービス事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	504,950	43,123	548,073	—	548,073
外部顧客への売上高	504,950	43,123	548,073	—	548,073
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	504,950	43,123	548,073	—	548,073
セグメント利益又は損失 (△)	262,280	△13,105	249,175	△59,511	189,663

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59,511千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。